

令和7年度第1回 茂原市スポーツ推進審議会 会議概要

- 1 日 時 令和7年7月3日(木) 15時00分～16時30分
- 2 場 所 茂原市市民体育館 第1会議室
- 3 出席委員 中村委員、宋倉委員、井下田委員、鶴澤委員、井上委員、土屋委員
- 4 出席職員 教育長 富田浩明、教育部長 佐久間尉介、教育部次長・教育総務課長 新木和敏、学校教育課長 佐藤千秋、スポーツ振興課長 石井直美、
スポーツ振興課長補佐 内山俊樹、スポーツ振興課 久保田健一、中村一之、
小高恵子
- 5 傍聴者 0人

会議進行 内山

1 開会

本日の会議の出席委員は6名です。茂原市スポーツ推進審議会条例第6条第2項に規定されている委員の半数以上の出席を満たしているため、本審議会は成立しています。

2 教育長あいさつ

3 委員の委嘱及び紹介について

4 会長及び副会長の選出について

委員の互選により会長に中村委員、副会長に阿部委員が選任された。

5 諮問について

富田教育長から中村会長に諮問書を手渡した。

6 議題

- (1) 第3次スポーツ推進計画の策定について
- (2) 第2次スポーツ推進計画の進捗状況について
- (3) 市民アンケートの調査結果について
- (4) 第3次スポーツ推進計画の骨子の検討について
- (5) 今後のスケジュールについて

茂原市スポーツ推進審議会条例第6条第1項の規定により、中村会長を議長として議事を進行した。

議 長

会長を仰せつかりました中村です。よろしくお願いします。

会議を円滑に進めたいと思いますので、ご協力をお願いします。

先ほど、諮問を受けました。今後の茂原市のスポーツ推進について、次期の計画の基本理念等について検討して欲しいとのこと。

現計画には今後の社会情勢の変化など、見直しが必要な事項等を生じた場合は、必要に応じて見直すということが書いてあります。諮問、答申するのでよろしくお願いします。

(1) 第3次スポーツ推進計画の策定について

事務局の説明をお願いします。

事務局

議題(1)「第3次スポーツ推進計画の策定について」ご説明させていただきます。資料2の1ページをご覧ください。

1 目的ですが、現在の「第2次茂原市スポーツ推進計画」は、令和3年4月に策定され、今年度末をもって5年間の計画期間が終了することから、新たな計画を策定するものです。

新たな計画は、今後の本市でのスポーツ振興を展望し、時代にあった計画とし、市民一人ひとりが生涯に渡ってスポーツに親しみ、健康で明るく豊かな市民生活ができるよう、スポーツの取り組みの方向性を示すものです。

参考として、国で定めた「スポーツ基本法」の前文の一部を資料に掲載しています。

基本法の前文では、「スポーツは、世界共通の人類の文化である」。に始まり、～中略～

下から6行目中段には、

「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であり、全ての国民がその自発性の下に、各々の関心、適性等に応じて、安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会が確保されなければならない。」とあります。

地方自治体としては、この法律の趣旨にのっとり、「市民が安全かつ公正な環境の下で日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、又はスポーツを支える活動に参画することのできる機会を確保していく」ことが求められております。

次に「2 計画策定の根拠」ですが、スポーツ基本法第10条では、「都道府県及び市町村の教育委員会は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めるものとする。」とあります。努力義務ではありますが、これが策定の根拠となります。

次に2ページをご覧ください。「3 計画におけるスポーツの範囲」ですが、2段落目になりますが、スポーツ基本法の考え方を踏まえて、本計画では、競技として勝敗や記録を競う「チャンピオンスポーツ」と、健康づくりや体力づくりの遊戯的要素を持つ「レクリエーションスポーツ」、健康や美容のための散歩や体操などの目的をもって体を動かす日常生活での運動についても、スポーツとして幅広く捉え、計画の策定を行ってまいります。

次に「4 計画期間」ですが、国や県の計画を参酌して、市の「茂原市総合計画」、「茂原市教育施策の大綱」に合わせて、基本目標を定めるとともに具体的な施策を検討し、計画期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間とします。

「5 国の動向」、「6 千葉県の動向」につきましては、それぞれ法律の趣旨にのっとり、計画を策定し、スポーツの推進に取り組んでいます。3ページをご覧ください。

「7 本市の取り組み」ですが、平成28年度から「第1次スポーツ推進計画」に基づき「市民ひとり1スポーツ」を基本理念とし、スポーツ推進に取り組んでまいりました。現在は「第2次スポーツ推進計画」によりスポーツ施策を実施しています。

「8 計画策定の進め方」ですが、「(1)の市民アンケートの実施」ですが、結果については、後ほど説明いたしますが、スポーツを取り巻く現状や市民ニーズ等を把握するためアンケートを実施いたしました。

(2) 審議会での検討ですが、本審議会を4回予定しております。

また、庁内関係各課による協議、パブリックコメントの実施、教育委員会会議での議決をもって決定してまいります。

次に4ページをご覧ください。

「9 計画の位置づけ」ですが、スポーツの持つ大きな力を活用し、茂原市市民憲章に掲げる「スポーツを楽しむ健康で活気のあるまち茂原」の実現のため、「市民ひとり1スポーツ」を基本理念として茂原市スポーツ推進計画を策定し、スポーツの推進に関する目標を明確にします。市民、地域、学校、行政、その他関係機関が共通の認識を持って、本市のスポーツの推進を図ってまいります。

上位計画である「茂原市総合計画」や「茂原市教育施策の大綱」との整合を図ると共に、その他の関連する行政部門の計画にも連携した内容とします。

説明は以上となります。

議長 ありがとうございます。

今、推進計画の策定について説明があったわけですが、質問があれば、お願いします。どんなことでも結構です。

委員 10年前に第1次スポーツ推進計画がつけられたときは、スポーツ基本法がつけられ、それに則り国のスポーツ基本計画、千葉県スポーツ基本計画がつけられた。それらを参考にしながら、茂原市のスポーツ推進計画をつくったと思います。今回第3次の計画をつくるわけですが、国の計画や千葉県の新しいスポーツ推進計画は、変更された部分はあるのでしょうか。

事務局 国の計画、県の計画についても、見直等がされておりますので、当然最新の情報を参照しながら、検討していきたいと思っています。先日スポーツ基本法が一部改正をされ、6月20日付で公布されています。新しい考え方等も盛り込まれているようですので、そういった内容も含めて、計画の中に取り入れたいと考えております。

委員 必要なところがあれば共有していただければと思います。

議長 私も1次の計画は持ってきています。配布された第2次計画とは、それほど変わっていないようです。

他にありますでしょうか。どんなことでも結構です。よろしいでしょうか。

（2）第2次スポーツ推進計画の進捗状況について

事務局の説明をお願いします。

事務局 議題（2）「第2次スポーツ推進計画の進捗状況について」ご説明させていただきます。資料3をご覧ください。

令和6年度の計画の進捗状況ですが、スポーツ推進計画の基本理念である「市民ひとり1スポーツ スポーツを楽しむ健康で活気のあるまち茂原」の実現のため、4つの基本目標を定め、それぞれでスポーツ教室等を実施してまいりました。

1ページの下段から2ページ3ページにかけて、4つの基本目標の評価部分だけを記載してあります。3ページ下段の「3 令和3年度から6年度までの進捗状況」をご覧ください。

進捗状況のまとめとしては、4つの基本目標の令和6年度の評価はいずれも「B：ある程度の成果を上げた」でした。コロナ渦で各種事業が実施できなかった時期から、令和5年度以降は、各種事業は概ね計画どおりに進捗し、各スポーツ施設の利用者も回復傾向にあります。コロナ渦前の水準には達していない状況です。

第2次スポーツ推進計画（R3～7年度）の4年間の終了時点での評価は、基

本理念として掲げた「市民ひとり1スポーツ」が実現できたかどうかという観点で検証を行う必要があります。実現したかどうかは、「スポーツに関するアンケート」の結果等をもとに評価をすることといたしました。

アンケート結果によれば「この1年間でスポーツや運動をした人」の割合は、「行った」は、R元年60%、R6年72%、「行わない」が、R元年39%、R6年28%となっています。具体的な内容を見ると「月1回以上スポーツや運動をした人」の割合でみると、R元年が58.6%、R6年が65.7%であり、割合は上がっているという結果となりました。この結果がすべてではありませんが、アンケートによればスポーツの実施率は上がっていると結果でありました。事業内容の詳細は4ページから11ページに記載しています。個々のシートの説明は省略をさせていただきます。説明は以上となります。

議長 ありがとうございます。
進捗状況についてということで今、説明があったわけですが、ご意見等はありませんでしょうか。

委員 資料に書いてある「活動成果課題等」は、これは活動の成果なのか、課題なのか分かりにくい。例えば3ページのスポーツ施設の整備と有効活用について「学校施設等開放によりスポーツの場を提供する」これは成果なのか。

事務局 ご意見ありがとうございます。
表題が活動成果課題等ということで、もともとの4ページ以降にある、評価シートの様式がこういう表現になっていて、成果と課題に分けて十分に書き込まれてないというところはございますが、結果・成果を中心に書いているところです。

議長 4ページ5ページ見ていきますと、それぞれ、参加人数等をいろいろ書いてもらってあります。これは活動状況、実績関係だと思います。ある程度の成果を上げ、実績がアップしていると思います。よろしいでしょうか。

(3) 市民アンケートの調査結果について

それでは、市民アンケートの調査結果について、説明をお願いします。

事務局 議題(3)「市民アンケートの調査結果について」ご説明させていただきます。
資料4の1ページをご覧ください。

まず、「1 調査の目的」ですが、新たな「スポーツ推進計画」を策定するにあたり、計画づくりのための基礎資料とすることを目的に実施したものです。

2の調査設計と回収状況ですが、対象者は18歳～70歳代の市民2,000人を年代や地域を考慮しながら無作為抽出しています。調査期間は令和6年9月10日～9月30日、調査方法は郵送、回収方法は郵送またはQRコードでのインターネット回答、回収率は32.1%でありました。主な回答結果をご説明いたします。

1 回答者の性別、年代はご覧のとおりです。

2ページをご覧ください。「2 自身の健康について」は、「自身の健康についてどう思うか」については、「健康(26%)」、「どちらかといえば健康52%」が合わせて78%となっています。年齢別では「健康である」の割合が高齢になるにつれ下がっている。3ページをご覧ください。

「3 自身の体力について」ですが、自身の体力については、「自信」がある「どちらかといえば自信がある」を合わせて45%、「不安」「どちらかといえば不安」を合わせると55%となっています。年齢が上がるにつれ「自信がある」、「どちらかといえば自信がある」の割合は下がっている傾向にあります。

4ページをご覧ください。

「4 運動やスポーツを「する」ことが好きかどうか」ですが、運動やスポーツをすることは、「好き」、「どちらかといえば好き」を合わせて69%。女性より男性の割合が高くなっています。5 ページをご覧ください。

「5 自身の運動量」ですが、「どちらかといえば不足」、「不足」を合わせると74%、20代～60代の働く世代や女性が高い割合となっています。

6 ページをご覧ください。

「6 1年間でのスポーツ・運動の実施状況（トレーニングジム、ラジオ体操、ウォーキング、散歩なども含む）」ですが、「行った」が72%、「行かない」が28%、実施した割合はR元年と比較し増加している。あくまで参考指標ではありますが、スポーツの実施率は上がっているという結果となっています。年代別では、50～60代の実施率が他の年代よりやや低くなっています。

7 ページをご覧ください。

「7 1年間で行った、スポーツ・運動（3つまで選択可）」ですが、ウォーキング散歩（29%）、筋トレ（12%）、体操（8%）など一人のできる運動の割合が高くなっています。9 ページをご覧ください。

「8 スポーツ・運動している割合」ですが、「週1回以上スポーツ・運動をしている割合」は合計で52.8%、半数以上の方が何らかのスポーツ運動をしている。R元年と比較すると週1回以上の定期的に実施している割合は低くなっています。

10 ページをご覧ください。

「9 スポーツ・運動をする理由（2つまで選択可）」ですが、「健康・体力づくり」「気晴らし・発散」「運動不足の解消」の順に多くなっています。R元年も同様の傾向にあります。12 ページをご覧ください。

「12 スポーツ・運動をする場所（2つまで選択可）」ですが、「公園・道路等（30%）」、「自宅（23%）」、「民間スポーツ施設（14%）」の順となっています。

13 ページをご覧ください。

「13 スポーツ・運動をしていない主な理由（2つまで選択可）」ですが、「仕事家事等が忙しい（28%）」、「きっかけがない（13%）」、「病気怪我（12%）」の順に多くなっています。15 ページをご覧ください。

「16 市主催のスポーツイベントへの参加」ですが、「参加したことがある（12%）」、「応援や見学で参加した（6%）」、「参加したことがない（82%）」となっています。21 ページをご覧ください。

「27 茂原市の重要なスポーツ推進施策（2つまで選択可）」ですが、「施設設備の充実（40%）」、「教室・イベントの充実（21%）」、「子供の能力向上（14%）」の順となっています。以上がアンケート結果の概要となります。

議長 ありがとうございます。今、説明がありましたがどうでしょうか。
 宍倉先生がいらしていますが、資料の2ページを見ますと、健康が20%、どちらか
 といえば健康が52%ですが。

委員 健康かどうかというのは、自分たちの具合が悪くなり、初めて不健康だと思つと
 すれば、スポーツは健康な内にやっておかないといけない。血圧と同じで、苦しく
 なる前に気をつけてやること、啓蒙活動が大切です。
 資料4の13ページ。「スポーツ・運動をしていない理由」ですが、仕事が忙しいと
 スポーツをするのは難しいと。市としてできるのは「できる場所がない」、「きっ
 かけがない」、「お金がかかる」という人達に、安くて、使いやすく、仲間がいる
 というような場所を提供できると、これらの人達がスポーツに取り組んでくれる。
 3分の1位の人がスポーツをしていない理由として「きっかけ」とか「場所」を
 整備できるといいのではないか。あとは、温暖化が進んで夏は屋外スポーツがまし
 ますできない。年間を通して活動する場合は、空調を整備しないと、スポーツを夏
 に外で元気にというのは無理な状況。そこを考えるといいと思います。

委員 週1でスポーツをしているか割合が、前回に比べて下がってしまったということで、コロナもあったと思うのですが、その辺の状況ですね。広報活動もされて、意欲づけられていたと思うのですが、他にどんな意識づけを、市民の皆さんにされたのかっていうことを考えたらと思います。

あとは、今熱中症の話がありましたが、施設の充実を望んでいる市民が多いと、具体的にどんなことを望まれているのかなというのが分かったら、手だてが変わっていくのではないかな。財政的なこともあります、今お話のあった空調というのは大切に運動する機会と繋がっていくのではないかな。

あとは、最後の質問のところで、子供の能力向上のための手立てというのが、どんなものがあるかという、もしわかればお願いしたいと思います。以上です。

事務局 お答えさせていただきます。

週1回以上スポーツを実施している割合が下がった理由というのは具体的には、分からないというのが正直なところ。コロナが蔓延して、スポーツ施設での活動等が自粛されたっていう時期があって、スポーツ施設の利用者は高齢者が多いことから、コロナ後にスポーツクラブが解散してしまった、或いは活動を控えたという方がいることは事実です。市民体育館の利用者数で見ると、利用者は年々増えてきていますがコロナ禍前までには回復してない状況にあります。これは体育館だけでなく公民館や福祉センターの利用も同様の状況です。代わりに自宅でできる運動などに変わってきている状況があると考えています。

施設の充実については、この計画期間の中で、市民体育館だとか、東部台文化会館のエアコン設置が完了いたしました。それについては住民からも好評をいただいています。あわせて、料金の改定もさせていただきましたが、その影響は全くなく子供たちの大会等でも非常に快適にできるという声もいただいています。

要望としては、やっぱり本市に無いような、施設を望む声はあります。これについては、すぐに整備できませんので、要望等をお聞きしながら、検討して参りたいと考えています。

子供の能力向上については、本市で取り組んでいるのは「レッツエンジョイ・キッズスポーツ」という教室をやっています。講師を招いて、保育園や小学生の世代に対して、運動能力を伸ばすきっかけづくりになるような取り組みをしています。夏休みを中心にやっていますが、非常に好評です。回数に限りはありますが、スポーツの推進に繋がっていけばいいと考えています。

説明については以上です。

委員 アンケートのコメントですけれども、今、週1回以上やっている人の割合が減っているというコメントですが、見た目には数パーセントの差でして、令和6年度の週1回以上が52.8で、元年度が54.4で、2%ぐらい。600名のデータなので統計では差があるかもしれないけれども、言いきっていいのかどうか確認されたいと。要するに次の計画に掲載する可能性があるのかコメントが正しいかどうか。

議長 私もある講習会で聞いたのですが、我々もう70代、いかにこの下り坂を急傾斜じゃなくて滑らかにするのか。結局、体力がどんどん落ちていきます。スポーツをしていかに緩やかにいくのか。田舎の人と会うとみんな車で動くので歩かない。歩くことが基本だということで、都会に住んでいる方が歩く。健康寿命という訳ではないですが、歩くことが大切。

委員 都会で住んでいたときは、駐車場代が高いですし地下鉄を利用し、車は使わないです。地下鉄は乗り換えが結構あるので、それを考えると、会長の言うように、日常生活で何気なく必要だから歩くというのが、毎日の運動に繋がると確かにいえる

と。だから、特別なスポーツをするという呼びかけもいいですけども、毎日の移動とか、そういうことを見直してみるという呼びかけもいいかもしれない。

委員

資料4の6ページですけども、「1年間にスポーツしましたか」という問いに、今回は72%、前回は60%が「行った」ということで、スポーツに親しんでいる率が向上しています。これは良いことです。感じたのは、この年代別の分布ですけども、20代で「行った」が84%で、前回は46%です。30代は90%で、前回は37%です。40代が79%で前回は49%。50代が66%で、前回は49%。60代が62%、前回は71%。70代以上は80%で、前回72%、前回とか前々回の調査でも、高齢者は運動していると。

問題は、働き盛りの人が忙しくて、運動できてないというのが課題であったのですが、今回は30代40代で90%とか80%とかってこんなに上がるというのは、今までのスポーツ推進計画の効果とか、或いは今まで忙しくて仕事ばかりで、運動できないと思っていた人も、自分に余裕ができたのか、或いは自分への健康への投資が必要だという考え方が世の中で変わってきたのか、要するにそういう世の中になってきたのかというのは、いいことだなというふうに感じました。

(4) 第3次スポーツ推進計画の骨子の検討について

議長

第3次スポーツ推進計画の骨子の検討について説明をお願いします。

事務局

議題(4)第3次スポーツ推進計画の骨子の検討について」ご説明させていただきます。資料5をご覧ください。

1 本市のスポーツに係る現状等、(1) 現計画の進捗状況ですが、議題2でご説明したとおり、計画全体では、各基本目標とも「B:ある程度の成果を挙げた(目標・目的を概ね達成している)」という結果でありました。一方、市民体育館の利用者が、ここ数年利用者は増加しているもののコロナ前までには回復していない状況にあります。これは、利用団体が高齢化していること、コロナ禍で活動をやめてしまった団体があったことなどが影響していると考えられます。

また、(2) 市民アンケートの調査結果では、「7 1年間で行ったスポーツ・運動」では、1位が「ウォーキング散歩(29%)」2位が「筋トレ(12%)」3位が「体操(8%)」など個人でできる運動が上位を占めています。

(3) 人口減少及び少子高齢化の状況では、本市の人口は、令和7年4月1日現在85,614人となっている。令和2年からの推移をみると年々減少し、5年間で3,091人の減少となっている。年齢3区分で見ると、65歳以上の人口は年々増加している一方、15歳未満の人口と15～64歳の生産年齢人口は減少し少子高齢化が進んでいることが分かります。今後もこの傾向は続き、少子高齢化がさらに進展するものと考えられます。2ページをご覧ください。

「2 計画の検討にあたって」ですが、3段落目ですが、「一方で少子高齢化が進む中」以降になりますが、計画策定の考え方をまとめたものです。高齢者層の増加に伴い高齢者向けの運動教室や地域での交流イベントなどを通じて、健康維持などを図っていくことや、少子化の中で、親子で参加できるスポーツイベントやファミリースポーツの開催など家族全体でスポーツを楽しむ機会を提供することも必要となってきます。また、地域特性に応じたスポーツ振興策を検討し、地域全体でスポーツを支える文化を醸成し、持続可能なスポーツ環境の構築を図ることも期待される。

このような視点を持ちながら計画の検討を進めてまいりたいと考えております。具体的に次回以降の審議会で検討いただくのは、「(1) 基本理念について」ですが、現計画では「市民 ひとり 1スポーツ」～スポーツを楽しみ健康で活気のあるまち 茂原～を基本理念として、各種施策に取り組んでまいりました。資料5-1をご覧ください。

県内他市の基本理念等をまとめたものです。比較してみると他市の基本理念はより具体的なものが多くなっています。次回以降の審議会において検討いただくこととなります。

「（２）基本目標（基本施策）について」ですが、基本理念を変更する、しないに関わらず、次の５年間に何を基本に進めるか、少子高齢化など時代の変化を的確にとらえながら、市民ニーズも踏まえて基本目標を定めてまいります。

「（３）数値目標の設定について」ですが、いろいろな計画策定において、数値目標を定めることが一般的になってきています。基本理念や基本目標を定めて、各種事業等を行った結果、成果があったのかどうかを検証するためにも数値目標の検討が必要になってくると思われます。これらを中心に計画策定の骨子の部分についてご検討をお願い申し上げます。

議 長 ありがとうございます。

資料５-１では、本市が一番上に記載してありまして、「市民ひとり１スポーツ」という基本理念が書いてあります。他市とは大分違いますね。それを皆さんがこれから考えて、私はこのままでいいのか、或いはもう少し具体的に言うか、優しく言うか、ということで説明があったわけです。よろしいでしょうか。

事務局 今後、計画の策定を進めるにあたっての、委員の皆様から考え方、ご質問でも結構ですし、一言ずついただけるとありがたいというふうに思っているんですけど。

議 長 せっかくの機会ですので、事務局から話があって、感想でもいいし一言お願いしたいと思います。

委 員 行っているスポーツを見ると、上位が１人でできるスポーツ。確かにこれからの時代に１人を推奨するわけではないですけども、できる時間が限られている。スポーツというと、みんなで場所を借りてやるような概念だと隙間時間とか、忙しい人ができない。だから「市民ひとり１スポーツ」という呼びかけで、ウォーキングとか、筋トレとか、１人でできるスポーツでも、「これでいいんだ」という考え方が広がってきたというのが結果に結びついている。「市民ひとり１スポーツ」というのは、今後も続けていいのではと感じている。他市の（基本理念）を見てみると分からないですね。茂原市は具体的でいいと思っているので、僕は基本理念の、メインは変えなくていいと、副題の「スポーツを楽しみ～」というのは、変えてもいいかもしれない。「市民ひとり１スポーツ」というのはすごくいいと思います。

委 員 ファミリーイベントの開催を増やしていくことも必要ということでしたが、アンケートでは、スポーツイベントへの参加は低いと思いました。どういうものを期待しているかという調査もされているので、是非たくさんの人たちがイベントに参加できて、運動やスポーツに親しめる機会を増やしていただけたらと思いました。教育長からも話があったとおり、令和７年度までに、部活動の地域展開の改革推進期間が終わり、８年度から６年間が実行期間ということになります。茂原市が非常に熱心に取り組んでいるところですが、子供たちにも目を向けていただいてより多くの子供たちが運動に親しめる環境を整備していただけたらというふうに思いました。

委 員 審議会委員になる前は、市のスポーツ事業は分かっていませんでした。中学校の体育教師として茂原市に３９年間勤めていましたが、その時はバレー部の顧問をしておりまして、中学生を対象にした、いろんなイベントを開催してくださり本当にお世話になっていました。その時に、Ｖリーグで活躍していた有名な選手の大林さんが来たときはすごく印象的でした。また若い男性の選手などと呼んでいただい

て、中学生にとっては本当にいいイベントだったと思います。すごく印象に残っている。若いときに経験をすると、将来にわたってスポーツに親しむ、それからまた自分の子供にも何かスポーツをやらせることができる。

今こういう会議に参加して、茂原市がすごく、頑張って何年にもわたってやっている。これを伝えていかななくてはいけないと思っております。

委員 バレーボール協会から参加させていただいております。一般女子として活動していますが、チーム数が14チームから8チームに減少している。生涯スポーツということで、みんなで活動しているのですが、それを繋げていくのが、難しい状況になっています。40代後半から60代ぐらいの人たちが活躍していますが、生涯現役、これを目指せたらいいなと思っています。

スポーツ事業の推進策として、子供の能力向上のためのレッツエンジョイスポーツという企画があるようですが、単発に終わらずに何かに繋がり、受け皿として中学校の部活動などにつながればいいと思います。

部活動の地域移行、地域展開が難しい問題になっています。いろいろな年代が力を発揮できる場が、少なくなっていると危惧しております。経験のある人たちがママさんバレーで活躍しているので、それが生涯スポーツに繋がっていくと思います。部活動の地域移行については、いろいろな問題が続くと耳にしております。全国で九州の1件だけ地域移行せずに、各中学校で部活動が続けるところがあると新聞に出たのを見ました。千葉県は大きな地域なので、難しいとは思いますが、茂原独自の方法がありましたら、皆さんで検討して、協力できたらと思っております。

委員 先ほど述べた、スポーツ実施率の向上というのは、今後とも努力して目指す必要があると思っております。アンケートで実施率が高まっていますが、「1年間でスポーツをやったことがありますか」というアンケートなので、今後は質的に実施率を上げる、日常的に運動をする状況を多くつくるのが大切だと思います。運動する場の確保というのが問題になってきて、体育館だけでは限界があるので、今後は茂原市にある学校の運動施設を有効活用することが重要で、学校開放が行われていますが、利用が難しいと思うのです。

学校を有効に活用するための管理委員会など、統一して市ですべての施設を管理して、使えるようなシステムを作るのがいいのではないかと。

資料3の10ページに令和6年の体育館の利用人数が12万7406人、学校開放の利用人数が6万2,000人とあり高いと思います。同一のグループが複数回使い、こういう数字が出ている可能性もあるので、運動したい人が使える仕組みも必要という気がします。

千葉市ではスポーツ推進委員が積極的に関与しているという話を聞いていますが、茂原市の場合はスポーツボランティアを育成したり、登録制度をつくるとか、計画に書かれていますが、実施されていないので、検討していただければと思います。また、計画にはスポーツ施設利用予約システムを検討すると書いてあります。運用などは検討していただければと思います。

委員 私は、先ほど言いましたが、場所などの整備ではなく、個人個人が体を動かさなければという意識が必要だと思います。我々行政から、個人の意識を変えて、ファミリーで何かしてもいいし、みんなが本当に体を動かして健康になるというような意識を持たせるというのが必要だと思います。

(5) 今後のスケジュールについて

事務局 議題5 今後のスケジュールについて説明をさせていただきます。

資料6をご覧ください。これは計画策定の全体のスケジュールになります。これまでアンケート調査の実施、スポーツ推進審議会、本日が第1回ということで、全4回実施する予定です。ご都合はいかがでしょうか。議会等スケジュールを踏まえ

て、予定させていただきました。よろしいでしょうか。開催通知はその都度、1ヶ月前位に改めて通知させていただきます。会議の資料については、1週間前には送付したいと考えています。2回目以降も今回と同様にそれぞれテーマについて、委員全員に発言をいただくように考えています。ご協力のほどお願いいたします。4回の審議会を終了いたしましたら、議員全員協議会ということで、議会に説明をいたします。その後、計画書の素案を皆さんに郵送でお送りさせていただき、ご意見をいただきます。パブリックコメントは12月の中旬から1月の中旬に行いたいと考えています。最終的に教育委員会議で計画の議決ということで決定し、概ね3月末をめどに策定し、皆さんには郵送いたします。スケジュールについては以上となります。

委 員 今ご説明あったスケジュール、具体的には11月19日の議員全員協議会にはある程度の計画ができるというイメージですか。

事務局 全員協議会は、うちだけの案件だけではなく、いろいろな説明案件があり、説明時間が限られています。概要を説明するだけなので、計画そのものではなく、主要な部分だけの資料を2～3ページぐらいで作成して説明します。議会が終わり、パブリックコメントの前までに素案をつくります。

この審議会でも議論いただきたいのは、計画の中身そのものというよりも、先ほどご説明した基本理念だとか、基本目標、数値目標をどうするかなど、計画の骨子の部分についての方向性についてご議論いただきたいと考えています。審議会が4回で限られた日程の中で協議しますから、細部まで検討するのは、時間的に難しいと思っています。

審議会の検討と並行して、計画を策定して参りますので、その都度できているものについては、お示しをさせていただき、4回目の審議会の時点で全てを出すことは難しいかと思いますが、意見をもらいながら、進めていきたいと考えております。

事務局 中村会長、ありがとうございました。

また委員の皆様におかれましては、長時間にわたるご審議、大変ありがとうございました。次第の最後のその他でございますけれども、委員の皆さんから何かございますでしょうか。

それでは以上をもちまして、第1回茂原市スポーツ推進審議会の会議を終了とさせていただきます。

長時間にわたりご審議ありがとうございました。